

Interview : 業界初！CFP算出で企業価値を向上

本社営業の上野です。

業界初のCFP(カーボンフットプリント)算出に取組み、脱炭素を事業拡大の武器の一つにした中嶋産業の中嶋常務取締役役インタビューを行いました。

実際にやってみた効果とは！？本音ベースでたくさんお話をしてくださりました。

CFP算出に興味のある事業者様、必見です！！



中嶋産業株式会社様 (大阪府)



上野:まずは、御社の事業内容を簡単に教えてください。

中嶋様:中嶋産業は60年以上にわたり、鋼材の中でも厚板という品種を主に取り扱っており、それを加工販売させていただいています。国内全国4拠点ありまして、地産地消モデルを強みとしています。

上野:CFPに取り組むことになったきっかけを教えてください。

中嶋様:CFPはゼロプラスさんから教えていただきました。弊社の強みである海運と脱炭素を掛け合わせることで、さらに事業を伸ばせると思い、取り組むことにしました。

上野:御社の強みのひとつに海運があるのですね。

中嶋様:はい。そうです。弊社は、月間7,000トンの鋼板を確保しており、厚みは600mm、幅は3,200mm、長さは1,300 mmまでという、巨大なサイズの鋼板を加工できることを強みとしています。これらの巨大なサイズの製品を、陸送でなく船で輸送しています。陸送で運ぶと非常にCO2がかかって大変ですけど、船で運ぶとローコストかつローカーボンで運ぶことができますので、それを強みとさせていただいています。

上野:CFP算出について、新聞等で取り上げられたと伺いました。お客様や同業他社から何か反応はありましたか？

中嶋様:業界紙にCFP算出を取り上げていただいたのですが、記事を見たお客様や仕入れ先の皆様から反響を多くいただくことができました。CFP算出という業界初の取り組みをさせていただく中で周囲からの期待感が上がり、我々のブランディングに寄与したと思っています。

上野:今後、見積書にもCFPを自動反映する仕組みは検討されていますか？

中嶋様:はい。今後見積書にもCFPを記載していきたいと思っています。お客さんの方でクオリティ、コスト、デリバリーだけでなく、CFPの値も評価していただいてご注文いただける。そういうものを作っていくと思っています。

上野:脱炭素に取り組んだことで期待される事業面以外の効果はありますか？

中嶋様:採用活動に非常に大きく貢献していくと考えています。我々が感じる中で、最近の学生さんは環境への意識が非常に高くなっていると思っています。また環境のことを考えられるということは、社会や組織のことも考えられる利他的な思考も強いと感じています。そういう学生さんに入っていくことは、我々にとっても強い武器になると考えています。

上野:最後に、本格化する脱炭素社会に向けて、これからの意気込みをお聞かせいただけますか？

中嶋様:弊社ではこれまで、海運による低炭素鋼材の輸送、そしてファイバーレーザーの活用、CFPの算出など、様々な脱炭素の取り組みをしてきました。これからはお客さんに我々ものづくりのサプライチェーンの一環として、ものをお届けすることはもちろん、それに掛け合わせて脱炭素というキーワードも含めて、しっかりと価値を届けていきたいと思っています。

中嶋産業株式会社 × ZEROPLUS

CFP算出インタビュー

QCDだけでなく
脱炭素が差別化要因

常務取締役
中嶋 克仁



中嶋産業様へのインタビュー動画を公開中！！
QRからアクセスしてぜひご覧ください。



脱炭素ニュース

昨年、ゼロプラスは「いたみ脱炭素コンソーシアム」に参画しました。本事業は環境省の「地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業」として採択されている、伊丹市内企業の脱炭素経営を推進する取り組みです。脱炭素に関する課題をワンストップで解決できる共同体として、排出量の可視化や太陽光発電導入サポート等、様々な支援を実施しています。

また、地域共創の取り組みとして森林保全活動や市立伊丹高校との課題解決型探求学習を行っています。市内企業にこうした取り組みに参加してもらうことで、企業の魅力や社会的評価の向上を図っています。

今年度は伊丹市・尼崎市・宝塚市と連携して脱炭素経営促進モデル事業を実施することが決定しました。複数の自治体との連携で市内企業がより効率よく、成果につながる形で脱炭素経営を進められるように、多様な活動を実施する予定です。



**いたみ脱炭素
コンソーシアム**

詳しくはこちらを
ご覧ください！



【イベント情報】

参加
無料



いたみ脱炭素シンポジウム

主催 伊丹市／一般財団法人自治総合センター

2026年8月21日にいたみ脱炭素シンポジウムが開催されます！

パネルディスカッションやワークショップ、脱炭素経営の疑問にお答えする個別相談会が行われる予定です。

弊社代表の大場も登壇して講演を行いますので、ご来場希望の方は弊社までお問い合わせください！

失敗できない検査から「自動測定(CNC三次元測定機)」へ！

従来の人手による神経を使う検査(ヒューマンエラーのプレッシャーや属人化)から、高効率な自動測定による省人化へとシフトし、手戻りの「ムダ」、測定のバラつき(「ムラ」、高い集中力を要する「ムリ」)を徹底排除します。ボタン一つで高精度な自動測定を行い、品質管理のボトルネックを解消して工場の生産性を劇的に向上させます。



製品紹介は
こちらから！

代表から一言

今年は梅雨らしい梅雨があり、6月は昨年と比べて涼しく過ごせたので、2023年から3年続く灼熱の夏は回避できるのかと淡い期待をしていました。しかし梅雨が明けた途端、やっぱり酷暑の日々。気候変動は確定的だと認識せざるを得ない。
また今年はイラン戦争で原油価格が高騰、日本政府は頑張って代替調達を進め、我々は快適な生活を維持できています。しかし燃料調達コストは高止まり。これからエネルギー効率化政策が始まるでしょう。気候変動対策としても、経済運営的にも、日本全体で省エネルギー、省石油を進めていく必要が高まっています。石油を使うと必ずCO2が発生しますから、省石油はCO2削減であり、脱炭素と同義です。
ここに紹介している脱炭素経営のすすめは、省石油を達成して企業のエネルギーコストを下げつつ、気候変動対策として消費者にアピールする経営方針として重要性が増していくでしょう。



株式会社 **ゼロプラス**
ZEROPLUS Co., Ltd